

## ディボーション質問表



今週のエゼキエル書の箇所は、諸外国に対する審判（25～32章）の部分です。この預言は、エルサレムが陥落する（BC586年）前、バビロンによって包囲されていた期間になされた審判です。

### 3日（月）エゼキエル書 25：1～11節 アモン、モアブに対して

1. アモン人（ロトの子孫）の罪として指摘されている内容と、それに対して主が裁くと言われている内容はどのようなもので、誰がするとされていますか（1～7節）？
2. モアブ人（セイル）の罪として指摘されている内容と、それに対して主が裁くと言われている内容はどのようなもので、誰がするとされていますか（8～11節）？

### 4日（火）エゼキエル書 25：12～17節 エドム、ペリシテに対して

1. エドム（12～14節、エサウの子孫）とペリシテ人（15～17節、ケレテ人）の罪として指摘されている内容と、それに対して主が裁くと言われている内容はどのようなもので、誰がするとされていますか？
2. 25章全体で、諸外国に対して指摘されている罪の内容とそれに対する主の裁きの内容を観察し、共通している事、いない事を書き出してみましょう。
3. 「わたしが主であることを知ろう」というフレーズがこの章にも4回出て来ます（5、7、11、17節）。それぞれ、どの民に対しての段落で言われていて、どのような時に、誰が主であることを知るようになると言われていますか？ また、このフレーズが出て来ない民が一つだけあります。それはどの民で何故だと思えますか？

### 5日（水）エゼキエル書 26：1～21節 ツロの破壊

1. ツロに対する預言です。ツロはパレスチナ北部の地中海沿岸沿いの古都で、港によって商業の中心となり栄え、ツロ（岩の意）という名前のごとく岩に囲まれ自然の要塞によって強固な国でした。1～6節でツロの罪として指摘されている内容と、それに対して主が裁くと言われている内容はどのようなもので、誰がするとされていますか？
2. 7～14節はネブカデレザル王を通しての裁きの姿が、15～18節はツロが裁かれるのを見ていた人々の反応が、19～21節には再び主のさばきの言葉が記されています。それぞれどのような内容かまとめてみましょう。

### 6日（木）エゼキエル書 27：1～24節 ツロの難船1

1. この章では、海運商業で栄えたツロを商船にたとえ、それが沈没することをツロの裁きに言い換えています。1～10節ではツロがどれほど栄えていたかをいろいろな表現で説明しています。それを書き出してみましょう。
2. 12～24節には、ツロの取引相手について地理的に西から東の順で記されています。彼らはどのような人々だったと言われていますか？

### 7日（金）エゼキエル書 27：25～36節 ツロの難船2

1. 25～36節は詩文で、商船にたとえられたツロの難船を描いています。ツロの偉大な力と栄誉は何によって滅ぼされると言われていますか？ その結果はどのようなになるのでしょうか（26～27節）？
2. ツロの繁栄にかかわった人々は、ツロの滅亡見てどのように思い、何をしていますか（28～36）？

### 8日（土）エゼキエル書 28：1～19節 ツロの王の破滅

1. 1～10節には、ツロの王に対する主のさばきの言葉が、12～19節では、哀歌の形でツロの王に対する預言が語られています。その内容をまとめてみましょう。
2. 今週の箇所を、アブラハムに約束された「あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろうものをわたしはのろう」（創世記12：3節）と関連させて読んでみましょう。

**\*今週の箇所から3日以内に始められ、具体的、実現可能で計測することができる計画を聞いてみましょう。**